

3. 修正の理由

(個別業績)

売上高は、前回公表の 124,000 百万円から約 9,000 百万円減の 115,000 百万円となる見通しです。利益面につきましては、売上高が、前回公表値に比し、減少するものの、売上高利益率のさらなる改善により、営業利益は、前回公表の 2,500 百万円から約 400 百万円増の 2,900 百万円となる見通しです。

経常利益は、営業利益の増加に加え、在外支店の換算による為替差益の影響もあり、約 600 百万円増の 3,000 百万円となる見通しです。

当期純利益につきましては、経常利益の増加を受けるものの、環境対策引当金繰入額 220 百万円を特別損失として処理することを主な要因として約 50 百万円減の 950 百万円となる見通しです。

(連結業績)

売上高、営業利益及び経常利益につきましては、主に提出会社の個別業績修正に伴うものです。

当期純利益につきましては、個別業績の修正理由に加え、連結子会社の増資にともなう持分変動損失 54 百万円を主な要因として約 100 百万円減の 900 百万円となる見通しです。

4. 期末配当予想について

1株当たり 8 円の期末配当につきましては、変更の予定はありません。

(注)将来の事象に係る記述に関する注意事項

上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上